



福岡市佐賀県人会会報



厳木温泉 佐用姫の湯

目 次

表紙 厳木温泉 佐用姫の湯	
平成10年新春懇談会	2~3
ふるさとの首長・ふるさと紹介 厳木町 田久保好範町長	4
活躍する佐賀県人たち 中村福岡県副知事 筒井副会長ご退任	5
このごろ私は 益崎博明さん、園田博茂さん、久保宜彦さん	6
郷土の歳時記	7
佐賀県だより 佐賀新聞社提供	8~9
龍造寺一族の大奮戦(二) 古賀利治さん	10~11
最近の入会者名簿・佐賀情報センターだより・編集デスク	12

36

1998.2

されるよう、我々としてまでもできる限りの協力をして行きたいと思っております。次に、例年お話ししております吉野ヶ里公園や嘉瀬川ダムも完成に向かっており、今後益々佐賀県との密接の度合いが高くなるのではないかと考えております。一方、我々が住んでおります福岡も、昨年の暮れ三越がオープンし、又川端地区の再開発や地下鉄の工事などでまだまだ変化しつつあります。が、将来益々いい町になるのではないかと期待している次第でございます。

今日は、年に二回の会合の日でございますので、忌憚のない意見を聞かせて戴きながら、懇親会を最後までお願い申し上げ、新年のご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございます。

続いて「来賓の紹介に移り保利耕輔（奥様代理）、坂井隆憲（代理）、愛野興一郎（代理）、山崎拓（代理）の四氏衆議院議員と、参議院議員の陣内孝雄氏（代理）、そして福岡県議会より井出勝美氏、さらに福岡市議会より宮副昭昭氏が紹介され、又佐賀県知事の代理として佐賀県農

林部森林整備課技術官の伊藤征夫氏、福岡市長代理として南里兼儀氏、そして最後に佐賀新聞社の稲田専務が紹介されました。

また、ご来賓の中より県知事代理の伊藤氏からは、ほのお博記念基金、佐賀空港開港、伊万里港のコンテナ化、さらに三県連帯の推進などのご説明があり、終わりに「佐賀ふるさと記念の森づくり記念事業」のお話で締め括られました。さらに、福岡市長代理の南里氏からは、バルーン大会や吉野ヶ里公園、嘉瀬川ダムなどを例に上げられ、二十一世紀を睨んだ、個性ある町づくりをして戴きたいとの、熱いメッセージがありました。さて、来賓のご挨拶が終わつ



たところで、祝電の披露があり、参加者全員大きな拍手で感謝の意を表わしました。お待ちどうさまでした。さあ、乾杯です。

音頭取りは指山副会長です。今、高視聴率を誇っている某局のテレビドラマ「徳川慶喜」に引かれて、今年は慶喜が景気よく、元気になるように期待してがんばりましょうと、誓いあって杯を乾き上げました。

当初、心配された参加人員は、開会時には百六十名を越え、会場内は熱気ムンムンで暖房を切る始末でした。

又、今回は飛び入りが多く事務局は、その対応に大わらわで、嬉しい悲鳴を上げたとお



しでした。

さて、各テーブルでは恒例の名刺交換が始まりました。県人会は異業種の皆さんの集まりです。大いに名刺交換をして、人間関係を形成し、有意義な時間を過ごして頂ければ、県人会参加の意義も見出せるかもしれません。

まあ、意義も何も関係無いと言われる方は、お楽しみみの「恒例・福引き大会」は如何でしょうか。

宴も一段落したところで、水間理事の司会で福引き大会の始まりです。今回の目玉商品は、唐津シーサイドホテルの食事付ベア宿泊券五万円相当と一万円のお買い物ギフト券です。又、その他に各方面



（水間 記）

平成10年 福岡市佐賀県人会新春懇親会

平成10年1月30日

平和楼本店

定刻よりやや遅れて、井上理事の落ち着いた声が会場に流れ、平成十年度の新春懇親会がスタートしました。

まず、辻副会長より「政・財・官の乱れにより、日本はまさに沈没せんかの様相を呈しているが、こうゆう時期にこそ、県人会は一致団結してガンバッテゆきましょう」と力強い開会の挨拶があり、続いて金子会長の年頭の挨拶に



金子会長
年頭の挨拶

だいぶ冷え込んだりで風邪も流行っておりますのでどうか、お体には充分ご注意ください。と、

さて、昨年は振り返ってみますと、四月の消費税値上げ以降、その影響なのか日本の経済は低迷状態になり、さらに我が国だけでなくアジア諸国も深刻な経済危機に陥っております。日本の影響が大きいのではないかと、との報道も

あります。しかし、その反面アメリカは非常に景気がいいと聞いております。つい五、六年前のバブルが弾ける前までは、まったく逆で、なぜ日本だけがいいんだろ、という時期もございました。これで世界中が悪くなりまして、本当に困ったことになりましたので、アメリカの景気の良い内に立ち直らなければならぬんじゃないかと思っております。

又、昨年は銀行や大手証券会社が倒産するなど、大変な年になりましたが、この福岡におきまして、あまり実感が沸きません。しかし、他方が良くて一方が悪いのでは、国家としてバランスがとれません。政・官界の方は、この舵取りをしっかりやって戴きたいと思う次第でございます。

さて、私も永倉前会長より会長を引き継ぎまして、もう十七年になります。そろそろ勇退の時期ではないかと考えておりますので、後継者の件宜しくお願い致します。

さて、本年郷里の佐賀県では、七月二十八日に佐賀空港がオープンする予定になっております。佐賀県民にとって非常に嬉しいことでござい

ますが、今後空港がうまく運営

謹賀新年

監事	理事	代表理事	常任理事	副会長	会長
久保	古賀	清村	前田	水間	落合
悦次	利治	克行	文敏	繁俊	良太
					省巳
					利次
					浩輔
					正直
					則雄
					廣人
					勇吉
					秀男
					進
					無津呂
					繁美
					指山
					弘養
					森
					長英
					辻
					金子
					宜嗣

筒井副会長 ご退任

この度、熊本の方に住むようになるので県人会副会長を退任したいとの申し出がありました。筒井副会長には県人会行事に大変協力をいただきましたので金子会長名で感謝状と記念品が贈呈されました。本当にお世話になりました。厚く御礼申し上げます。

事務局

感謝状

筒井 寅吉 殿

あなたは昭和十九年五月に福岡市佐賀県人会副会長に就任され、十二年間、長年、県人会発展のために多大な努力とご尽力をなされ、誠にありがとうございました。感謝の意を表します。

平成九年十月十五日

福岡市佐賀県人会
会長 金子 宜嗣

事務局だより
ご連絡ください
人事異動や慶弔行事、親友の集い、いろいろあつてのことだと思ひます。
掲載期日がおくれるので、ご不満はあるかと思いますが、会員相互の消息を知りあうためにも、ぜひ、連絡をお願いいたします。
また、地元や職場でおもしろいニュースがあつたときも、お知らせください。楽しい紙面づくりのためにご協力をお願いいたします。

「むつろ」の

広告欄をご利用ください
広告スペース、一回の広告料金はつぎの通りです。

【全一段分】 幅十五
×高さ四寸以内（二万円）

【二段二分の一】 幅七
×高さ四寸以内（二万円）

【一段四分の一】 幅三
×高さ四寸以内（五千元）

県人会報「むつろ」は年一回発行しています。

広告掲載ご希望の方は、お早めにご連絡ください。なお、勝手ですが、掲載位置については事務局におまかせください。

ノンストップバス『からつ号』運行中！

唐津 ⇄ 天神

(大手口) 70分 (西鉄福岡バスセンター)

〈運賃〉 片道：1,100円 往復：1,900円

〈お問い合わせ先〉

唐津バスセンター (0955) 73-7511

唐津発	天神着	天神発	唐津着
8:30	9:40	9:02	10:14
10:00	11:10	10:32	11:44
11:30	12:40	12:02	13:14
13:00	14:10	13:32	14:44
14:30	15:40	15:02	16:14
16:00	17:10	16:32	17:44
17:30	18:40	18:02	19:14
19:00	20:10	20:02	21:14

昭和自動車株式会社

ふるさとと首長



厳木町
田久保好範 町長

交流とオアシスの 自然とロマン 風のふるさと

明治からの石灰産業で栄え、昭和二〇年代には、二千人を超えるに到り、昭和二十七年五月に町制を施行。その後のエネルギー革命により炭鉱は閉山、主幹産業もみかん・米等を主体とした農林業中心の町に変貌しました。

町政施行から四五年、その間町民福祉の向上を理念に、交通体系、農林業の生産基盤、工業団地整備による企業誘致、上下水道等ライフラインの整備、住宅団地の造成等農工併進の町づくりを展開しました。しかし基幹産業の長期停滞により若者が都会へ流出し過疎化現象が続く中、新たに工場団地造成による企業誘致に努め、新産業の振興による活性化を図っています。

近年は、県内の二大都市を結ぶ長崎自動車道からのアクセス高規格道路国道二〇三線厳木バイパスの開通による有利性をふるさと創生事業を起爆剤に温泉資源を活用した総合保養温泉施設の整備を始め、産地直販所「風のふるさと館」、更に町の七〇％を占める森林空間の公益性の発揮と都市住民との交流拠点「緑風館」の整備を図り山麓地域でのオアシス空間を創造しています。今後は、二一世紀を展望し、生活環境の整備や文化施設の推進と情報発信地を目標に個性と魅力に満ちあふれた町づくりを展開し、「自然とロマン 風のふるさと」を構築する考えであります。



道の駅「厳木」風のふるさと館

厳木町は、佐賀県の北西部東松浦郡の東南端に位置し、佐賀市へ二七km、唐津市へ一九kmの距離にあります。四方を山に囲まれ、北部に県の秀峰天山をはじめ作礼山を有し、南部に女山、八幡岳を含み一帯が県立自然公園に指定されています。本町の東北部を水源とする厳木川が相知町へと流れ、下流の松浦川に合流し

本町は、明治以降石灰産業で栄え、人口増で商業も隆盛をきわめたものの、昭和三〇年代からのエネルギー消費革命により昭和四〇年に全ての石灰の火が消え産業は衰退した。その後企業誘致等に努めながらも、基幹産業は、みかん・米・林業等の第一次産業を主体として発展してきた。しかしながら昭和五〇年代か

ふるさと紹介 厳木町

厳木町は、佐賀県の北西部東松浦郡の東南端に位置し、佐賀市へ二七km、唐津市へ一九kmの距離にあります。四方を山に囲まれ、北部に県の秀峰天山をはじめ作礼山を有し、南部に女山、八幡岳を含み一帯が県立自然公園に指定されています。本町の東北部を水源とする厳木川が相知町へと流れ、下流の松浦川に合流し

交通関係は、東西に県的主幹道である国道二〇三線が走り、この国道を岐点として富士線、伊万里・畑川内線等主要幹道が形成されている。更に近年は、佐賀・唐津間の高規格道路として国道二〇三線バイパスが開通中であり、平成八年七月から、長崎自動車道多良久ICと厳木町浪瀬IC間が供用開始され交通アクセスの優位性が高まっている。

平成七年度には、二一世紀を展望した第三次総合計画を策定し、町づくりのコンセプトを「自然とロマン風のふるさと」と定めており、平成一七年度を目標に、福岡都市圏との交流を基軸に、産業の活性化を図ると共に、定住環境整備と伝統文化の振興、スポーツレクリエーション施設の創造をはじめ、本町の潜在的な能力である日本三大伝説「佐用姫物語」のヒロイン佐用姫の生誕地を生かしたロマンの里づくり等々安らぎと交流拠点の町づくりを推進している。

らの農地再編対策・オレンジ輸入自由化等により農林業は長期低迷を呈していることから、交通アクセスの優位性を生かした企業誘致により、平成に入り大型企業一社の誘致、県営工業団地造成計画などにこぎつけている。更に、ふるさと創生事業を契機に、観光資源の新興発掘に取り組み、県内屈指の温泉源の発掘に成功したこと、総合保養温泉施設「厳木温泉佐用姫の湯」をオープンし、これを核として特産品直販所「風のふるさと館」、都市住民との交流拠点施設「緑風館」等を整備している。

郷土の歳時記

3月

- 1日 はがま祭(鹿島市世間)
第1日曜日 ファミリースポーツフェスティバル「東脊振村」/しおた「イカダの里」ロードレース大会(塩田街)
- 8日 鬼子母神祭(小城町光勝寺)
第2日曜日 さがレディースロードレース(佐賀市)
15日 おかゆだめし(北茂安町千栗八幡宮)/おかゆびらき(川副町志賀神社)
18日 吉野ヶ里ロードレース(神埼町)
春分の日 観光の日(武雄市)
18日 五百羅漢祭(相知町藤野)/観音の滝彼岸まつり(七山村)
- 21日 和泉式部忌(有明町福和泉神社)
23日 歌垣の郷ロードレース大会(白石町)
28日 全国中学校選抜県道大会(神埼町)
28・29日 ドロンパ王国佐賀空港イベント(川副町・諸富町・東与賀町・久保田町)
- 29日 鶴根崎の獅子舞(島西市鶴根崎)
最終日曜日 虹の松原春まつり(唐津市・浜玉町)/桜まつり(福富町マイランド公園)
下旬 吉野ヶ里菜の花マーチ(神埼町ほか)/環・佐ウオークラリー(三日月町)
下旬~4月上旬 旭ヶ岡公園桜まつり(鹿島市)/伊万里春まつり(伊万里市)

4月

- 1日~5月10日 川上鯉鯉のふき流し(大和町)/御船山楽園花まつり(武雄市御船山楽園)
1~5日 伊万里春の祭元市(伊万里市)
1~10日 国際アマチュア陶芸展伊万里'98(伊万里市)
- 4~5日 樹田宮春祭(神埼町)
5日 おやまさん祭(塩田町吉浦神社)
第1土曜日 春雨まつり(小城町)
第1土・日曜日 武雄温泉春まつり(武雄市)
第1日曜日 とす弥生まつり(島西市)/さが桜マラソン(佐賀市)/自由神社春祭(玄海町)/真手野舞浮立(武雄市武内町)/黒髪山開き(西有田町竜門山の家)
- 上旬 うれしの茶ミット、古田おやまさん陶器まつり(雄野町)/春風ウォーク(中原町)
上旬~5月下旬 観光潮干狩り(川副町・諸富町)
10~12日 日峰さん(佐賀市松原神社)
10~20日 お経会(大和町実相院)
第2日曜日 富士町健康マラソン大会(富士町)/大隈祭(佐賀市)
- 中旬 ムツコウウまつり(芦刈町)/太陽と緑のふれあいまつり(久保田町)/ジャクナゲまつり(北波多村)/外津釜比羅大祭(玄海町)/乙宮社西宮社春祭(牛津町)
- 中甸~下旬 しゃくなげ祭り(北方町高野寺)
15日~5月10日 大興善寺つつじ見頃(基山町)
16日 香椎神社春祭(久保田町)
18日 多々聖廟祭(多々市)
19日 値賀神社春祭(玄海町)
21日 白木聖廟春祭(江北町)
29日 唐津城歴代城主慰霊祭(唐津市)/さが花とみどりの探検隊(佐賀市)/宿町鉦浮立(島西市)/みどりと歴史のクロスカントリー駅伝大会(伊万里市)
- 29日~5月5日 有田陶器市(有田町)

5月

- 29日~5月中旬 九州山口陶磁器展(有田町)
下旬 新兵衛まつり(雄野町土不動)/新茶まつり(北波多村)/歌垣つつじまつり(白石町)/こいがれんげ草祭(西有田町)
- 下旬~5月上旬 つつじ祭(鹿島市祐徳稲荷神社)
下旬~5月中旬 観光いちご狩(有明町)
下旬~5月下旬 観光潮干狩り(有田町)
下旬~6月上旬 佐里コスモス遊園(相知町)
- 4月29日~5日 有田陶器市(有田町)
旧4月15日~7月15日 出水法要(白石町須古)
- 1日 御田祭(芦刈町乙宮神社)
1~31日 春まつり(浜玉町諏訪神社)/竹の古場公園つつじ祭り(伊万里市)/脊振千坊聖茶まつり(東脊振村)/献茶祭(雄野町)/唐津焼窯元まつり(北波多村)/唐津焼展(唐津市)
- 2~4日 脊振神社弁財天まつり(脊振村)
2~5日 新茶まつり(雄野町)
3日 鹿島ガタリンピック(鹿島市)
4日 陶祖祭(有田町)
3~5日 佐賀空港開港イベント・フカイ・レジャー・ジャパン'98イン佐賀(佐賀空港)
- 上旬~下旬 佐賀県一の大シャクナゲ見頃(脊振村浄徳寺)
- 上旬~8月 観光釣船・網漁体験船(諸富町)
第2日曜日 みかつき農産物感謝デー/みんなでおいでん祭(三日月町)
- 中旬 ニジマス釣大会(七山村観音の滝)/どろんこビーチバレー(雄野町)/松原川かつぱまつり(佐賀市)/流れ蓮頂(太良町)
- 中旬~6月 エッソ(諸富町)
23日 おおホテルロードレース大会(小城町)
下旬 祐徳本因坊戦(鹿島市祐徳稲荷神社)/ぼたん緑の丘駅伝大会(肥前町)/佐賀セラミックロード車いすマラソン大会(西有田町)
- 下旬~6月上旬 そうめん祭り(神埼町)/ラベンダーフェアー(西有田町チャイナ・オン・ザ・パーク)
- 下旬~6月中旬 花菖蒲見頃(大和町中央公園菖蒲園)/ホテル祭(小城町)
- 最終日曜日 虹の松原ファミリーマラソン大会(唐津市)
- 最終日曜日もしくは6月第1日曜日 うめーランド(武雄市御船ヶ丘梅林)

6月

- 1日 山登り(有田町)
第1土曜日~8月第2土曜日 銀天夜(佐賀市)
第1土・日 呼子の綱引(呼子町)(土曜日 子供綱引き・日曜日 大人綱引き)
- 7・8日 吉野ヶ里パルーン大会(神埼町)
上旬 はたるまつり(鹿島市奥山)
10日~7月10日 見帰りの滝あじさいまつり(相知町)
中旬 船釣り大会(肥前町)
最終土曜日・日曜日 第12回田植大会(西有田町)

このごろ 私は

虎は風に

毛を振るう

谷崎 博明さん



昨年は新春懇親会恒例の福引きで、特賞の竜崎旅行に当たるなど、私的には好調な出足でしたが、金融業界は金融ビッグバンの幕開けを控え、波乱に富んだ一年でした。

そのような中、昨年、私の職場で関わった、佐賀県人の皆様の活躍振りを示す面白い話題を二つご紹介いたします。

一つは、五月に開催されたアジア開発銀行福岡総会での

夜の博多湾

クルージング

園田 博茂さん

忘年会を兼ねた同窓会幹事を夜の博多湾クルージング船上で行いました。海側から街の夜景を眺めるのも一興であらう。近くに住んでいないが



います。参加者には明暗対照のすてきな夜景を存分に味わっ

十六年ぶりの

福岡生活

久保 宣彦さん



昨年七月、十六年ぶりに福岡へ帰ってきました。昭和四十年博多東急ホテルの建設・開業に携り、以来十四年間福岡におりましたので、二度目の福岡住まいです。

当時からみると福岡の発展ぶりには大変驚いています。街が美しくなり、文化・スポーツ施設の充実、百地浜・天神地区の再開発など市民生活が一段と潤いを増しています。

私の家族は妻と二男一女の五人家族ですが、サラリーマ

ンの宿命で転勤が多く、今まで東京・千葉・熊本・長崎とそれぞれに生活の拠点をもち一家離散の生活でした。

計らずも長女・長男家族が福岡に転勤になり、しかも孫三人が増え、久しぶりに一家で福岡の生活を楽しんでおります。

今度、竹馬の友・親友の沢村利次君(ツルカメ漢方本店社長)の紹介で佐賀県人会に入会させていただきました。とたんに執筆依頼を受け拙文をしたためた次第です。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

(勤務先 九州東急ホテル チェーン)



さらに充実した装備。
品質も、性能も、価格も、
私たちの生活にジャストフィットする
特別なカラーです。



COROLLA
XE-Saloon Limited



信用で売る店

トヨタカローラ 福岡

本社:福岡市中央区長浜2丁目1番5号 電話 092(712)7111 代表

◎直径2・2メートルの大皿

焼き物の大皿づくりに挑んでいた伊万里市の「大皿に夢をのせて翔こう会・大翔会」（吉富常彦会長）が七月十八日、直径約二メートルを越す大皿の制作に成功した。失敗を繰り返しながらもあきらめずに挑戦、十二作目、三度目の釜出しで悲願達成となった。

大皿は直径約二・二メートル、高さ二十センチで、唐津系の土約四百五十キログラムを用いた。図柄は稲穂。これまでの失敗から「根気よく約一年間じっくり乾燥させた」そうだ。関係者によると、この大皿は平成八年、岐阜市瑞浪町で制作された美濃焼の二・七メートルの皿に次いで国内では二番目の大きさという。

中心的役割を果たした陶芸家の溝上藻風さんは「ようやく焼き上げたという感じでホッとしています。陶芸家としてはもう少し改良しなければならぬ点もある」と言っている。



大翔会が制作に成功した大皿
伊万里町大坪町で

◎市町村合併推進を提言

井本勇知事は八月二十一日、県地域婦人連絡協議会主催の「知事と語る会」の中で、「合併を真剣に考え、推進すべきだ」と提言した。

「21世紀の時代認識」と題して講演した知事は、今後の高齢者介護や教育問題について、「広域で取り組まなければ対応できなくなる」との考えを示した上で、佐賀市郡や唐津市・東松浦郡を例に挙げて、「（関係者は）合併したらどんなメリットがあるかを示さなければ」と語った。さらに「もっと関心を高めて真剣

に考えてほしい」と呼びかけた。県内の市町村合併については五月に唐津市と東松浦郡の首長、議長による「唐津東松浦合併懇話会」が二年三カ月ぶりに再開され、また、佐賀青年会議所が佐賀市郡の合併に関し勉強会を持っている。

◎多久市長に横尾俊彦氏

任期満了に伴う多久市長選挙は九月七日投票、即日開票され、新人の松下政経塾員横尾俊彦氏（四一）が、自民県連推薦の前市教育長東郷典治氏（六四）に無所属に二票以上の大差をつけて圧勝した。最終得票は横尾氏八二〇五、東郷氏六〇二一、牧野内亮治氏七三三八。

多久市は人口の減少、産業の停滞などの悩みを抱えており、今回の市長選の争点は二十一世紀に向けた展望。新進党を離れ、いち早く出馬を表明した横尾氏は、二度の総選挙の挫折をバネに市民サイドに立った市政の確立と政治の刷新を訴えた。東郷氏は自民



ジョイフルタウン
開店を待つ買い物客であふれたジョイフルタウン

◎ジョイフルタウン 開店

党の要請を受ける形で立候補したもの、最後まで出遅れが響いた。また、主だった団体が中立にとどまったため、期待していた組織力が発揮できず、支持を広げられなかった。

万人が入店した。周辺道路も終日、渋滞が続いた。県境を越えた広域からの集客力で市商業活性化の核と期待される半面、県東部地区の既存大型店同士の競争は一段と激化する。

◎観光向けに可能性探る

佐賀市の多布施川で戦前まで見られた川下りの復活の可能性を探ろうと、十月十四日、田中稔佐賀商工会議所会頭と西村正俊佐賀市長が小舟で同川を約一時間かけて下った。

◎唐津くんち 最高潮

この川下りは田中会頭が「市内を縦横に走る川は財産。これを生かしたイベントを考え、全国に売り込めないものか」と発案して実現した。多布施川は大正から戦前にかけて川下りが盛んで、民謡にも「水は川上、サクラは神野、夏は多布施の川下り」と歌われている。田中会頭らは箱舟（ノリ舟）に乗り、大和町の石井樋から佐賀市の蜷川橋間など計一・七キロを下った。西村市長は「思ったより揺れず不安はなかった。これならば工夫をすれば観光の目玉になりそうだ」と話していた。

最高潮

国指定重要無形民俗文化財の唐津くんち（唐津市）は十一月二日に開幕。三日は本番の「お旅所神幸」を迎え、祭りは最高潮に達した。沿道には二十九万人の見物客が繰り出し、伝統の祭りに酔った。唐津神社に勢ぞろいした曳山は午前九時半に出発。文政二（一八一九）年に制作された「赤獅子」（刀町）を先頭



大勢の見物客が見守る中、お旅所に入る曳山

◎成功裡に熱気球世界大会



今年も百万人以上の観客でにぎわったバルーン大会

一九九七佐賀熱気球世界選手権大会は十一月二十四日、最終競技が行われた。この日も天候に恵まれ主会場の佐賀市の嘉瀬川河川敷は二十七万人の大観衆で埋まり、大会期間中の人出は延べ百七万人を数えた。

最終日も三十八カ国・地域の百十機が出場。同河川敷と小城市津町に設定された二カ所の目標地点にマーカー（砂袋）を落とす二種目で得点を競った。その結果、前日までトップだったデビッド・ペアフォード選手（英国）

が、同日も手堅くまとめて首位をキープし、総合で初優勝を飾った。

◎旅行代理店にアピール

アピール

九八年七月に開港する佐賀空港を利用した観光ツアー商品を企画してもらおうと、佐賀県は二月三日から三日間、航空会社や東京、大阪地区の旅行代理店の企画担当者らを招待、県内観光地を案内した。日程は初日は吉野ヶ里遺跡、佐賀空港建設地、東与賀海岸、県有明水産振興センター。二日目が肥前夢街道、県立九州陶器文化館、チャイナ・オン・ザ・パーク、大川内山。三日目が呼子（朝市）、県立名護屋城博物館、同城跡、唐津（曳山展示場）など。

参加したのは九社、二十一人。その一人は「佐賀空港を使うことには前向きに考えたいが、問題は発着時刻だと思う。そ

れに県は空港ができたというPRをしっかりやってほしい」と注文をつけた。

◎「新さが百景」決まる

決まる

「二十一世紀に伝えたいふるさとの景観」をテーマに佐賀新聞社と県内郵便局が県民に投票を呼びかけた「新さが百景」が平成十年一月十四日決定した。

鳥栖スタジアム、九年庵（三神地区）、バルーン、佐賀空港（佐城地区）、秘窯の里（大川内）、唐津くんち（松浦地区）、世界一の登り窯飛龍、歌垣公園（杵藤地区）、虹の松原、吉野ヶ里（複数市町村）など。新しい観光スポットと伝統的景観が混在する、バラエティーに富んだ内容だ。昨年九月から募集した結果、二十万票を超える投票があり、件数は六百六十八件に及んだ。地域的バランスなどを加味して選定委員会（委員長・本山藤康県観光課長）が選定した。

本欄のニュース、写真はすべて佐賀新聞社より提供いただきました。

特別寄稿

龍造一族の大奮闘(二)

県人会監事 古賀利治

(龍造よりつづく)

政資は河上社に神埼郡内の田地二十町を寄進し武運と筑前への帰国を祈っているが、翌十五年に綾部城の浅川万寿丸を攻めて筑前に走らせている。東肥前の龍造寺氏等の協力である。又政資は龍造寺次郎(康家)延徳元年(一四八九)右衛門大夫に任官出来る様に官途吹挙状を出している。その年には浅川万寿丸を追って筑前・筑後・肥前の大半を支配し太宰府に帰ったが、明応六年(一四九七)太内義興が筑前の政資父子を攻めたので父子は肥前の晴気城(小城)次いで梶峰城(多久)に落ち、大内勢に攻められて自刃した。大内義興は千葉氏の一族、千葉興常を肥前守護代としたが、千葉氏は少武教頼の二男胤資の系統の西千葉と、大内氏と結んだ興常(胤棟)の東千葉に別れて抗争を続けた。少武政資が自刃した



川上神社

後遺児の資元が元の地盤の勢力を盛り返しつづつあった。永正五年周防に亡命していた足利義尹は義興に擁されて上京

新次郎(胤久)に対し名字状、官途吹挙状・安堵状が出されている。千葉胤勝は永正十一年(一五一四)新次郎に自分

し再び將軍になったが、上洛に際し肥前から九州探題浅川尹繁、少武資元の名代横岳資誠・千葉興常・波多治などと共に龍造寺家と家兼の兄弟が随行したと云われる。この頃、東・西の千葉興常、千葉胤勝などから龍造寺家の子

の名字の胤を与えて胤久と名乗らせ、同十八年民部大輔の官途吹挙状が与えられている。龍造寺の家督は家兼が継いでいたが先祖伝来の龍造寺村八十町、本庄八十町、与賀庄千町と云われている。更に大永四年(一五二四)胤久は千葉興常より佐賀郡尻田(修理田)六十町、千数(貢)三十町、小城郡大寺三十六町、別府百町、佐賀郡大室四十町、千住十二町、諸富十二町、が安堵されており、年紀不明の小城郡光武分十八町、佐賀郡下嘉背百町、有重十二町、法成寺十六町の知行を安堵されており、与賀郷を中心にかのりの土地を支配した国人の領主に成長している。享祿三年(一五三〇)に千葉胤勝は胤久に對し龍造寺の本拠与賀庄千町を与えている。龍造寺家の本領を継承せよとした胤久は本家を継ぐことなく出家しなければならなくなった。享祿三年八月大内義興のあとを継いだ義隆は筑前、肥前を支配しようとして杉興運を先鋒として攻め上つて来た。少武資元は勢福寺城(神埼)でこれを迎え討つたが筑肥・朝日・横岳などの太宰府に近い領主達は内氏の勢力下にはいっ

た。而し龍造寺家兼・家門父子をはじめ江上小田・大塚・馬場・出雲・姉川・本告・執行など佐賀・神埼郡を中心とする国人達は結束して大内軍を迎え討ち田手縄の戦(三田川町田手)で大内軍を敗退させた。この時龍造寺配下の鍋島清久が活躍した鍋島氏抬頭のきっかけをつくった。この家兼父子の活躍によって龍造寺氏内部において胤久の立場は弱くなった。一族間の紛争をさげ、家兼、家門父子に龍造寺氏の惣領の地位をゆずり、隠退する意志をもちし千葉興常もこれを容認している。それに依つて胤久は叔父家兼にその地位を譲った。胤久の系統が絶えたわけではなく龍造寺氏はその館の所在地から家兼・胤久の系統を村中龍造寺、家兼・家門の系統を水ヶ江龍造寺として存立する事となった。

龍造寺中興の祖家兼

(剛忠)

三津(東脊振村)の陶興房の陣所を、台風による高潮と洪水の中の家兼・家門の軍は善戦し急襲して興房を敗走させた。敗退の報を得た大内義隆は、同年十月三万余の軍勢を率いて太宰府にはいり少武資元、冬尚を陶興房らに正面から攻めさせた。少武冬尚の守る神埼の勢福寺城を略した。一方大内義隆は優勢な兵力を背景に、龍造寺家兼を仲介として少武氏と和議を進めた。これによって和議は成立し、少武と結んで大内氏に對抗していた豊後の大友氏も大内氏と和平したが、義隆は天文四年陶興房に命じて三根・神埼・佐賀三郡の少武氏の所領を悉く没収した。義隆は太宰大武に任せられ、少武氏の上官の官位を得て多久にいた少武資元を攻めて自殺させた。しかし資元の子の冬尚を擁して少武氏による肥前支配を望む国人も多く、大内氏の九州支配に危機感を持っていた豊後の大共義隆は冬尚を支援した。冬尚は資元の自殺の原因を作ったのは家兼だとして水ヶ江城を攻めたが、これまで少武氏を支えて来た国人層の分裂が露呈される結果で終わった。冬尚はもはや龍造寺家兼の支援

なしに体勢挽回不可能なことを悟り天文九年(一五四〇)家兼に支援を願った。家兼は協力したが実質的には主従関係は逆転し西から有馬晴純の肥前侵略を少武・龍造寺・千葉氏の連繫で食い止め、天文十年一月龍造寺家兼の支援で少武冬尚は神埼の勢福寺城にいらっている。この時期に於ける東肥前の政治的安定を物語るものは、天文十二年二月四日の銘のある千栗八幡宮(三養基郡北茂安町)に旧蔵されていた鐘の銘文である。これによると、大檀那の大宰少武藤原冬尚以下、馬場六良藤原政員、前肥前守頼周(馬場頼周)筑紫四郎惟門・宗筑俊入道本盛・馬場右衛門大夫周詮・馬場大蔵丞周盛・江上石見守元種・東彈正少弼盛親・龍造寺山城入道剛忠・龍造寺新次良胤・同三良兵衛家門・同伯耆入道日勇(盛家)小田九郎政光の十三名が列記され、共同で鐘を奉納したことがわかる。この中に馬場氏四名、龍造寺氏四名の名が見え、この二つが実力者であり、家兼・家門の水ヶ江龍造寺父子が、村中龍造寺の胤榮や家兼の兄の子盛家よりも前に名を連ねている。

馬場頼周の策謀

天文十二年の勢力のバランスはくずれ、龍造寺氏の抬頭に危機を持った馬場頼周は、冬尚の父資元の敗死の原因が家兼にあることを理由に冬尚を動かして、有馬晴純と結んだ松浦党の波多・鶴田氏・多久氏に挙兵させ、この討伐を龍造寺家兼に命じた。天文十三年十一月家兼は一族を率いて出陣したが、敗れて盛家などが戦死した。家兼は天文十四年一月有馬晴純らの軍に居城を囲まれ、家兼は筑後に逃れた。水ヶ江龍造寺一族が城を出た機会にこれを滅亡させる事を考えていた馬場頼周は神埼、佐賀の山内に勢力を持つ神代勝利とはかつて、筑前に落ちようとした家兼の子家純家門の兄弟と家純の子純家を河上社で襲って殺し家純の子周家、頼純、家門の子家泰が勢福寺城の少武冬尚を頼ろうとするのを神埼郡尾崎村の祇園原で待伏せて殺した。水ヶ江龍造寺氏は潰滅的な打撃を受け、水ヶ江城は冬尚の指示で馬場・神代・小田らの家臣が交代で城番を勤めた。龍造寺氏の惣領の地位は再び村中龍造寺氏に移ったと考えられるが力は失っていた。筑後に

逃れた家兼を佐賀へ帰す働きをしたのは鍋島清久等である。千葉氏の内紛に乗じて千葉胤勝と結び、龍造寺の知行地として長く培ってきた佐賀郡与賀・川副の郷土の協力を得て天文十四年三月家兼は川副の鯉江の無量寺で旗上げして水ヶ江城を奪回し翌月小城の祇園城にいた馬場頼周を攻めて討ち取った。佐賀に戻った家兼は天文十五年九十三才で没した。

名君の誉あり

龍造寺氏一族が前代未曾有の大悲劇に会い分裂しがちな一族をまとめ与賀・川副の沃野に地盤を築いた彼は、晩年になって子や孫を一時に失う悲運にあったが再び佐賀に帰ることが出来た。与賀・川副の領民の掌握が日頃から良く行き届き親しまれていたからである。家兼は仁政家として慕われ剛忠さんと呼ばれた。この後曾孫にあたる胤信(隆信)が水ヶ江龍造寺家を継ぐことになる。



昭和商事石油株式会社

代表取締役会長 金子 宜嗣
代表取締役社長 井上 健司

本社 福岡市中央区大手門2丁目3番7号
TEL 092(714)3111
FAX 092(714)4406

福岡市佐賀県人会 最近の入会者名簿

氏 名	〒	住 所 (自宅)	電話番号	職業・勤務先	出身地
森 永 哲 生				(有)ニコニコ酒販	大 町 町
古 川 博 文				久留米日日新聞社	三田川町
中川原時夫				(株)福岡玉屋	三 根 町
山 田 國 光				福岡空港商事(株)	厳 木 町
橋 本 良 雄				新地研工業(株)	鳥 栖 市
馬 場 健 次				(株)鴻池組	武 雄 市
杉 野 素 善				(株)佐賀共栄銀行	佐 賀 市
田中智恵美				クラブ野の華	呼 子 町
田中丸真輝				秀巧社印刷(株)	牛 津 町
井 浦 順 爾				学校法人筑紫女学園	川 副 町
井 辺 主 税				鉄建建設(株)九州支店	鳥 栖 市

トを紹介させていただきます。いたただきます。

☆希望者にのり絵巻づくりを体験してもらい「佐賀のり絵巻教室」

佐賀情報センターだより

佐賀情報センターでは、土日を中心としていろいろなイベントを行っています。今回は昨生行った主なイベント

☆鳥栖、中原の地場産品や観光PR、シユウマイの試食販売を中心とした「鳥栖・中原の技 伝統的地場産品展」

☆神埼町の観光PR、そうめん販売、尾崎人形の製作実演・体験を中心とした「さわやかデー神埼・ふるさとに帰る夏」

☆福岡市の観光PRと農産物販売を中心とした「さがのうまかあ・れんこん展」

☆芦刈町の特産品や観光PRとムツゴロウ、ワラスボ、クチゾコなどを水槽で紹介した「ムツゴロウ王国芦刈と有明海のふしぎ生物展」

☆県が有田で実施したやきもの体験フェスタのプレイベント「絵付コンテスト」

☆多久氏の観光PR、中国音楽の生演奏、多久饅頭のプレイベントを中心とした「多久の秋祭りPR」

☆センター主催の温泉と味覚、テールフルコーディネイト、産直農産物の販売を中心とした「さがして、ふれて、あじわって」佐賀の色スバリゾトと秋



☆佐賀市の佐賀熱気球世界選手権と佐賀歴史街道のPRを中心とした「ゆっくりとした時の流れ」レトロであったらしい「SAGA」

☆「風の画家中島潔作品集 佐賀県オリジナルカレンダー展」

☆浮立面、のこみ人形の製作実演・絵付体験、農産物の販売やプレイベントなどを中心とした「きこみ人形展」

☆福岡市から唐津市までの六市町で構成する玄海ウエストコースト都市会議主催の「フォトコンテスト作品展」などを行いました。

これからいろいろなイベントを行うべく予定ですので是非一度ご来場ください。

なお詳細についてはセンターまでお問合わせください。

佐賀情報センター
福岡市天神イムズ七F
☎092-733-1111

会報むつごろ

平成10年2月25日 発行
福岡市佐賀県人会
(発行責任者 田中 秀男)
福岡市中央区大手門2-3-7
昭和商事石油株式会社
製作 有限会社 タナカ
☎092-714-3111
☎0955-23-5214

編集デスク

平成十年の新春をおよろび申し上げます。本年もどうぞよろしく願っています。

「龍造寺一族の大奮戦」は古賀利治様のご協力により連載させていただきました。

会員のみなさまからの投稿をお待ちします。佐賀に関する情報も大歓迎です。

みなさまの紙面参加により、より親しまれる「むつごろ」に育てて下さい。俳句・短歌・詩・随筆などもご投稿をお待ちします。

「佐賀県だより」の記事・写真は、佐賀新聞社さんから提供、協力いただきました。ありがとうございます。

(T)